

# 平成17年度定期作況報告

5月20日現在  
北海道立根釧農業試験場

## 気象概況

前年11月から本年5月中旬までの気象の経過は平年に比べておおむね次の通りである。

### 平成16年

- 11月：気温は上・下旬でやや高く、中旬で高かった。降水量は上旬で多く、中旬でやや多く、下旬で極めて少なかった。日照時間は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬で多かった。
- 12月：気温は上・中旬で平年並、下旬で低かった。降水量は上旬で多く、中旬で極めて多く、下旬でやや少なかった。日照時間は上・中旬でやや少なく、下旬でやや多かった。根雪始は12月5日で平年より6日早かった。

### 平成17年

- 1月：気温は上・下旬でやや低く、中旬でやや高かった。降水量は全旬でやや少なかった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬でやや少なかった。
- 2月：気温は上旬で高く、中旬でやや低く、下旬で低かった。降水量は全旬で平年並であった。日照時間は上旬で少なく、中・下旬で平年並であった。
- 3月：気温は上旬でやや低く、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや少なく、中旬で多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で極めて多く、中・下旬で平年並であった。
- 4月：気温は全旬で平年並であった。降水量は上・下旬で極めて多く、中旬で少なかった。日照時間は上・下旬で平年並、中旬で多かった。
- 5月上旬：最高および最低気温は9.8および0.7 で、それぞれ平年より2.8および1.0 低かったため、平均気温は5.3 で平年より1.9 低かった。降水量は31mmで平年より11mm少なかった。日照時間は25.9時間で平年より23.6時間少なかった。
- 5月中旬：最高および最低気温は10.2および1.7 で、それぞれ平年より3.8および1.8 低かったため、平均気温は6.0 で平年より2.8 低かった。降水量は31mmで平年並であった。日照時間は44.1時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、総じて、寒候期の気温・降水量・日照時間はともに平年並で、融雪後は気温が平年より低く推移している。

### 季節調査

	平成16年			平成17年				
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日		根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壌凍結深 (cm)	積雪 (cm)			
本年	10.27	12.5	83	13	43	4.16	5.8	5.10
平年	11.8	12.11	76	25	60	4.6	4.24	5.9
比較	12	6	7	12	18	10	14	1

注1) 平年値は前10力年平均値

2) は減を示す

平成17年度 気象表

年	月	旬	平均気温( )			最高気温( )			最低気温( )			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差
16	11	上旬	6.8	4.9	1.9	11.4	10.6	0.8	2.2	-0.9	3.1	45	17	28	7	3.9	3.1	27.8	51.6	-23.8
		中旬	5.0	1.8	3.2	10.3	7.0	3.3	-0.3	-3.5	3.2	41	23	18	4	4.2	-0.2	38.6	45.1	-6.5
		下旬	1.5	0.4	1.1	7.2	5.5	1.7	-4.2	-4.7	0.5	10	46	-36	3	5.1	-2.1	69.5	47.6	21.9
	12	上旬	-2.9	-3.2	0.3	3.1	1.7	1.4	-8.9	-8.0	-0.9	47	19	28	5	4.0	1.0	32.9	46.3	-13.4
		中旬	-4.8	-5.3	0.5	0.9	-0.1	1.0	-10.4	-10.5	0.1	48	13	35	6	3.5	2.5	38.9	52.3	-13.4
		下旬	-9.0	-6.5	-2.5	-2.2	-0.8	-1.4	-15.7	-12.0	-3.7	5	21	-16	3	4.4	-1.4	70.8	56.0	14.8
17	1	上旬	-8.0	-6.5	-1.5	-1.2	-1.0	-0.2	-14.8	-12.1	-2.7	6	23	-17	4	4.5	-0.5	39.8	47.0	-7.2
		中旬	-6.0	-7.9	1.9	-0.7	-2.3	1.6	-11.3	-13.5	2.2	6	21	-15	2	4.5	-2.5	38.8	48.9	-10.1
		下旬	-9.6	-8.4	-1.2	-2.6	-2.4	-0.2	-16.6	-14.3	-2.3	8	23	-15	4	5.0	-1.0	48.4	58.0	-9.6
	2	上旬	-5.4	-9.0	3.6	-1.1	-2.5	1.4	-9.6	-15.5	5.9	1	7	-6	1	2.8	-1.8	37.9	61.1	-23.2
		中旬	-10.3	-8.7	-1.6	-4.7	-2.2	-2.5	-15.8	-15.3	-0.5	14	16	-2	1	3.2	-2.2	63.4	58.3	5.1
		下旬	-9.6	-7.1	-2.5	-2.7	-1.0	-1.7	-16.5	-13.2	-3.3	10	8	2	2	1.8	0.2	52.7	55.9	-3.2
	3	上旬	-8.1	-6.2	-1.9	-0.1	-0.5	0.4	-16.0	-11.8	-4.2	3	15	-12	1	4.5	-3.5	90.1	58.7	31.4
		中旬	-3.5	-3.2	-0.3	2.2	1.9	0.3	-9.1	-8.2	-0.9	38	10	28	5	3.7	1.3	58.7	56.9	1.8
		下旬	-0.5	-1.0	0.5	3.8	3.6	0.2	-4.7	-5.5	0.8	44	37	7	4	4.7	-0.7	59.7	59.4	0.3
	4	上旬	0.7	1.6	-0.9	4.9	6.4	-1.5	-3.5	-3.2	-0.3	54	21	33	6	4.8	1.2	54.7	55.1	-0.4
		中旬	3.1	3.9	-0.8	8.4	8.7	-0.3	-2.3	-1.0	-1.3	3	30	-27	2	5.5	-3.5	72.4	43.7	28.7
		下旬	6.0	6.5	-0.5	10.7	12.4	-1.7	1.2	0.6	0.6	63	32	31	4	5.0	-1.0	53.2	54.9	-1.7
5	上旬	5.3	7.2	-1.9	9.8	12.6	-2.8	0.7	1.7	-1.0	31	42	-11	6	4.6	1.4	25.9	49.5	-23.6	
	中旬	6.0	8.8	-2.8	10.2	14.0	-3.8	1.7	3.5	-1.8	31	29	2	4	5.3	-1.3	44.1	42.0	2.1	

備考)データはアメダス観測値(中標準).平年値は前10年平均値.

当场作況

1.とうもろこし

作況： -

事 由

根雪終わりが遅れ、融雪後の低温と降雨により播種は平年より遅れ、5月20日現在播種期に至っていない。なお、播種期の平年値は5月19日である。

品 種 名	播種期（月日）		
	本年	平年	比較
エ マ		5.19	

注1)根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2)当場のとうもろこし作況調査は、平成14年度より供試品種を「エマ」に変更している。平年値は、過去の「品種比較試験」又は「系統適応性検定試験」での「エマ」の結果より算出した。

3)「平年」は前7カ年のうち豊凶の平成11および15年を除いた5ヶ年の平均値である。

## 2. 牧草

(1)採草型(チモシー・アカクローバ混播、チモシー単播)

作況：1番草 不良

### 事由

チモシーの萌芽期は4月26日で平年並であったが、アカクローバの萌芽期は4月29日で平年値と比べて4~5日遅かった。冬損状態は、チモシーでは平年値であったが、アカクローバでは平年値と比べて0.6~1.0ポイント大きかった。アカクローバの冬損は主に雪腐病が原因で、マメ科率の低下が懸念される。

5月20日現在の草丈は、萌芽後の5月上旬~5月中旬の著しい低温が影響し、平年値と比べて、チモシーで15~16cm、アカクローバで11~14cm低かった。

本春は、チモシーの萌芽期は平年並、アカクローバの萌芽期は遅れ、萌芽後の低温により早春の生育は著しく遅れた。以上から目下の作況は不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-5甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノック」	TY	4.26	4.25	1	1.5	1.5	0.0	19	35	16
	RC	4.28	4.23	5	2.5	1.5	1.0	9	23	14
「ノック」	TY	4.26	4.27	1	1.5	1.4	0.1	20	35	15
	RC	4.29	4.25	4	2.5	1.9	0.6	10	21	11
「ノック」2年目	TY単播	4.29	-	-	1.5	-	-	19	-	-
「ノック」3年目	TY単播	4.29	-	-	1.5	-	-	20	-	-

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) TY:チモシー「ノック」、RC:アカクローバ「ホセキ」

3) 平年値:2年目草地は平成12年および15年を除く5か年平均。

3年目草地は平成10年および13年を除く5か年平均値。

4) - は減を示す。

5) TY「ノック」単播の作況調査は、平成15年度の2年目草地より開始し、平年値の作成中のため、平年値との比較および作況の判定データは欠である。

## 事 由

オーチャードグラス単播の萌芽期は4月27日で、シロクローバと混播条件における平年値より、早い傾向であった。冬損状態はシロクローバと混播条件における平年値より、やや小さい~同程度であった。5月20日現在の草丈はシロクローバと混播条件における平年値より低い傾向であった。萌芽後の低温により生育は停滞気味である。

草地	草種	萌芽期(OG:月日)			冬損状態(OG:1-5甚)			5月20日草丈(OG:cm)		
		本年	(混播平年)	比較	本年	(混播平年)	比較	本年	(混播平年)	比較
「オカミドリ」	2年目 OG	4.26	(4.30)	-	2.0	(2.5)	-	21	(24)	-
「オカミドリ」	3年目 OG	4.27	(4.29)	-	2.0	(2.2)	-	19	(24)	-

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) OG: オーチャードグラス「オカミドリ」

3) 当場の放牧型の作況調査は、平成15年度より供試草種・品種をOG「オカミドリ」単播に変更。単播における平年値の作成中のため、平年値との比較および作況の判定データは欠である。

4) 混播平年: シロクローバ「カリフォルニアラジノ」と混播条件における、平年値(平成13年および14年を除く5カ年平均値)をデータを参考として掲載。

## 平成 17 年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m <sup>2</sup> )	施 肥 量 (kg/10a)						栽 植 密 度		
		堆肥	炭加	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	畦幅 (cm)	株間 (cm)	播種量・播種株数
1. サイレージ用 とうもろこし 「エマ」	11.5	4,000	200	8+4	20	6+4	2.5	72	18	7,716 本/10a
2. 牧 草 (1) - 1 採草型(混播) TY:「ノック」 RC:「ホセキ」	27	4,000	300	7	24	15	9	25 (TY、RC 交互条播)	TY: 800g/10a RC: 800g/10a	
				( 1 年 目 ) 10	12	22	5			( 2 ・ 3 年 目 )
(1) - 2 採草型(単播)	14	4,000	300	10	23	14	9	30単播条播	TY:2,000g/10a	
				( 1 年 目 ) 17	8	17	4			( 2 ・ 3 年 目 )
(2) 放牧型 OG:「オカミドリ」(単播)	14	4,000	300	10	23	14	9	30単播条播	OG:2,000g/10a	
				( 1 年 目 ) 17	8	17	4			( 2 ・ 3 年 目 )

- 注) 1)サイレージ用とうもろこしは品種比較試験または系統適応性検定試験の圃場。  
 2)牧草は2・3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回(各月1日)の刈取り。  
 3)TY:チモシー「ノック」、RC:アカクローバ「ホセキ」、OG:オーチャードグラス「オカミドリ」